

第7次アイシン連結環境取組プラン(成果)

GRI 103-3, 308-2, 413-1

分野	取組分野	2021年度成果	評価
脱炭素社会の構築	① ライフサイクルCO ₂ 削減	・Scope3算出定義・結果と今後の進め方について承認を得た ・2030年SDGs目標値の変更を検討。2013年比⇒2019年比▲25%へ変更することが承認された。	○
	② 製品設計におけるCO ₂ 排出削減	・シロキ工業、アドヴィックス、アート金属工業にて製品のリストアップおよび、基準年の製品LCA-CO ₂ 算出と削減計画策定完了	○
	③ 生産におけるCO ₂ 排出削減	・グループ、関連会社全社へのCO ₂ 中長期目標の理解活動、個社ごとの排出量目標合意 ・2025年を見据えた国内外すべてのグループ会社で省エネアイテム計222項目、生技取組テーマ394件の積上げ完了	○
	④ 生産における再生可能エネルギー導入	・導入の仕組化とグループ連携で再エネ導入方針に基づいた調達活動を展開 ・拠点別に再エネ導入によるCO ₂ 削減目標を立案 ・グループ協業で証書・クレジット導入によるCO ₂ 削減の実行	○
	⑤ 物流におけるCO ₂ 排出削減	・静岡、豊田地区の共同輸送拡大を完了 ・ホンダ狭山向けフルトレーラー導入実施 ・吉良工場 名港向けA/T納入便セミトレーラー導入実施 ・バイオマストラック導入に向けた故障解析を実施、対策による導入拡大に向け関係部署との体制構築	○
循環型社会の構築	⑥ 資源効率向上に貢献する製品設計、製品・技術開発	・[樹脂リサイクル材料を活用した製品設計方法]を新設するとともに、グループ会社へ開示し情報展開を実施 ・樹脂材を多く使用する設計部署に対し、技術標準の内容説明と意見交換を実施。また、社内展示会(技術フォーラム)に出展し、樹脂リサイクル材採用推進の啓発活動を実施	○
	⑦ 生産における資源投入・廃棄物排出の削減	・グループ生産12社の廃棄物削減、有価事例の共有完了(グループ総計、170tの廃棄物を削減事例の共有) ・海外7地域に対して廃棄物内訳調査を実施。排出量の多い廃棄物の把握完了	○
	⑧ 社会全体の資源循環システム構築等への貢献	・勉強会、各社廃プラ調査を経て、三河地区3社6拠点でグループ混載委託を実現、混載委託により積載効率を最大化し、6tの廃プラ有価化を実現 ・海外向けA/T完成品パレットのリターナブル化と荷姿改善による包装材使用量の低減を推進 ・サーキュラーエコノミーへの対応方法を社内検討開始	○
	⑨ 生産における水資源効率の向上	・計量ガイドラインおよび削減事例集(151事例)をグループグローバル全140社へ展開完了	○

分野	取組分野	2021年度成果	評価
循環型社会の構築	⑩ 地域の水資源保全等への貢献	・工場排水が流れる朝鮮川調査を実施(1回/年) ・自社内分析室を利用した排水の自主基準の順守継続	○
	⑪ サプライヤーと協働した水資源環境の改善	・グリーン調達ガイドライン改訂に伴い、サプライヤー(つばさ会111社含む)に対して、水リスク教育実施(1回/年) ・つばさ会全111社に対して水リスク調査を実施。高リスク拠点把握に向けた準備完了	○
	⑫ 生物多様性への負荷低減	・ポスト愛知目標決定が延期されたことにより、アイシンググループ生物多様性ガイドラインの改訂を延期へ。決定後、ガイドラインの修正要否を検討する。	—
自然共生社会の構築	⑬ 自社拠点における生物多様性の保全	・アイシン半田工場、アイシン軽金属有機工場、アイシン辰栄幸田工場で自然と共生する工場の独自の詳細定義を決定。水準合わせ完了 ・上記3拠点で有識者決定、指標種選定の上、生息環境保全活動をスタート	○
	⑭ 地域の生物多様性の保全・向上への貢献	・上記3拠点の自然と共生する工場にて、2022年度の地域との環境コミュニケーション活動計画を策定	○
全テーマ共通の基盤活動	⑮ 生産活動における環境負荷物質低減	・化学物質の削減・維持活動の継続 ・アイシンにて法順守を目的とした新システム導入完了	○
	⑯ グローバル連結環境マネジメントの運用および環境取組基盤の強化	・環境異常4件発生 ・過去に発生した異常に対する要因解析を実施し、AGES教育の企画化 ・環境管理データ教育実施。データの精度向上を確認 ・省エネ教育開催に向けた海外各地域の現状把握完了 ・EMSアセスメントにおける世界共通チェックシート展開完了	×
	⑰ サプライチェーンマネジメント	・グリーン調達ガイドライン改訂に伴い、サプライヤー(つばさ会111社含む)に対して、水リスク教育実施(1回/年) ・つばさ会全111社に対して水リスク調査を実施。高リスク拠点把握に向けた準備完了。 ・環境問題における生産停止リスク低減に向け、仕入先点検を実施。中国地区では、現地点検とWeb点検で47社を訪問した。	○
	⑱ 環境コミュニケーション、ステークホルダーエンゲージメント	・日本全国5カ所でコロナ禍に対応した、生物多様性活動を実施 ・CDP気候変動(B)、水保全(A)を取得	○